

【校長だより】No.2

次の100年に向けて ～自立と貢献を目指して生徒とともに歩む～
— 湊川高校は2029年創立100周年を迎えます —

二学期、皆様のおかげをもちまして終えることができました。平素は湊川高校の教育活動にご支援ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、この度、校長だよりNo.2を作成しました。湊川高校で頑張る生徒や教員の声をまとめました。今後とも湊川高校の教育活動にご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年度第73回兵庫県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会 兵庫県大会

(開催日)令和5年10月14日[土] (場所)神戸総合教育センター

基準発表 3年1組 YA さん

※神戸地区大会で優秀な成績を収め、県大会に出場しました

3年1組 YA さんの話

—生活体験発表大会兵庫県大会で発表をした感想は。

YA さん 「会場がいっぱいで緊張しましたが、みんなが真剣に聞いてくれたのでやりやすかった。私は発表がもともと得意ではないので、よい経験になりました。」

—もうすぐ卒業ですが、3年間の思い出は。

YA さん 「文化祭で1、2年生はパネルづくりを、3年生もクラスのもんで一つの作品を作れたことです。また、考査のテストが終わってからの勉強会。6人くらい集まってみんなで教えあいをしたのがよい思い出です。」

—在校生にアドバイスを。

YA さん 「1、2年生の時はいろいろありましたが、3年が楽しい。また、授業は出たほうがよい。先生の話をよく聞いてほしい。一人一人のことを考えて言ってくれるので。」

生徒会や家庭部の部長で活躍した3年2組 YU さんに話を聞きました。

家庭部 部長 3年2組 YU さんの話

—もうすぐ卒業ですが、3年間の思い出は。

YU さん 「生徒会をやってきたこと。オープンハイスクールや文化祭でパワーポイントの作品作りなどをして、とてもやりがいを感じました。」

—在校生にアドバイスを。

YU さん 「進路は早めに考えたほうがいい。私はもともとやりたいことがありましたが、実際に探してみると苦労しました。ぜひ早めに周りに相談してほしい。」

—湊川高校のよさは何でしょうか。

YU さん 「先生との距離が近いので相談しやすいことです。」

上村 真美子 先生の話

－上村先生は今年度、初任で湊川高校に赴任されました。これまでを振り返っての感想を。

上村先生 「生徒はいろんな個性があり、少しヤンチャでもちゃんと話をしたらわかってくれる。生徒の相談事にも真剣に向き合い自分のことを例に出して話をしたら、生徒は信頼してくれる。生徒と教師が密接な関係を築ける学校だと思います。」

－これまでで印象的だったことは。

上村先生 「文化祭で生徒会の生徒と看板を作ったとき、とても苦勞しましたが生徒がよく頑張ってくれました。看板を見た生徒が「いいね」と言ってくれたことがうれしかったです。」

－これからの抱負を。

上村先生 「もっとわかりやすく、おもしろい授業をすること。そして、行事で生徒と全力で楽しみたいです。」

永西 英俊 さんの話

－永西さんは 2017 年から湊川高校で調理員として勤務していただきます。本校の特色の一つである「おいしい給食」を日々作っておられる気持ちを聞かせてください。

永西さん 「安心安全な給食が一番。給食はその日のスタートとして、時間通りにおいしい給食を提供できることを心がけています。」

－永西さんからの湊川高校の印象は。

永西さん 「元気な生徒が多い。感想をはっきりという生徒が多い。「おいしかった」と言われるとうれしい。きびしい意見もあるが、改善して生徒のニーズにこたえようと西山先生と相談しながらやっています。」

田中 雅康 先生の話

－田中先生は本校で勤務されて 20 年目になります。田中先生には国語の教員として、また 1965 年から続く識字教室を担当していただくなど、長年、本校の人権教育を推進されてこられました。

田中先生 「私が本校に赴任したころは人権教育をリードする先輩教員が多くいて、人権教育のリーダー校として旗をふって頑張っていました。私は先輩教員の後を継いで、部落問題研究部や朝鮮問題研究部の顧問を担当してきました。」

－湊川高校で人権教育を進めるうえで大切なことは何でしょうか。

田中先生 「生徒との信頼関係を築くこと。自分にも人を差別する心があることを打ち明けると生徒は真剣に話を聞き、やがて心を開いてくれます。」

－湊川高校の先生方に一言をお願いします。

田中先生 「湊川高校は県下でも最も困難な状況にある生徒を受け入れてきました。この湊川高校の歴史を知ってほしい。その歩みから学ぶべきものが多くあります。」